



演題

拡大するアディクション問題への 学術的対応

講師

池田 和隆 先生

公益財団法人 東京都医学総合研究所
精神行動医学分野・分野長 参事研究員
依存性薬物プロジェクトリーダー



要旨

米国でのオピオイド危機など世界的に薬物乱用の問題は極めて深刻であり、日本においても薬物乱用問題が急拡大する可能性がある。また、特定複合観光施設区域整備法(IR法)(2018年7月)やギャンブル等依存症対策基本法(2018年10月)が施行され、ギャンブル依存に対する社会的関心が高まっている。さらにWHOがICD-11に「ゲーム症・障害」を加えるなど、アディクションとして取り扱うべき範囲は拡大してきている。このような社会状況の変化と問題に対し、日本学術会議において、2017年にアディクション分科会(委員長:池田和隆)が設立された。また、文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の調査事業にもアディクションが選定され、日本アルコール・アディクション医学会(JMSAAS)を対象とした「依存症対策に向けた研究開発課題の抽出に関する調査」が2019年より行われている。東京都医学総合研究所では、国立精神・神経医療研究センターなどと共同で、依存症治療薬の開発を進めている。オピオイドやアルコールなど様々な依存性物質の作用機序に共通して関わるG蛋白質活性化型内向き整流性カリウム(GIRK)チャネルを標的とした薬物に依存症治療を促進する可能性が示されつつある。本講演では、アディクション分科会で準備されつつある提言や依存症治療薬の開発状況を紹介し、出席者との議論により提言の改善および治療薬開発の促進に繋げたい。

ご略歴

平成元年東大工学部反応化学学科卒、平成3年阪大(院)医学研究科修士修了、平成7年新潟大(院)医学研究科博士修了、平成7年理化学研究所・研究員、平成12年東京都精神医学総合研究所・精神薬理研究部門・主任研究員、平成23年東京都医学総合研究所・依存性薬物プロジェクト・プロジェクトリーダー(参事研究員)、平成27年精神行動医学研究分野長(兼務)、平成28年AMED融合脳事業プログラムオフィサー(兼務)、平成29年厚労省薬事・食品衛生審議会臨時委員(兼務)

日本学術会議 [2014-2020年]連携会員(2018年アディクション分科会委員長)
2019年アジア神経精神薬理学会(AsCNP)(理事長)

日時

2019年11月15日 (金)

15:00~17:00 開場14:30

国立医薬品食品衛生研究所 2階 共用会議室

【お問い合わせ先】 国立医薬品食品衛生研究所 生薬部 花尻(木倉)瑠理
電話: 044-270-6522 メール: kikura@nihs.go.jp